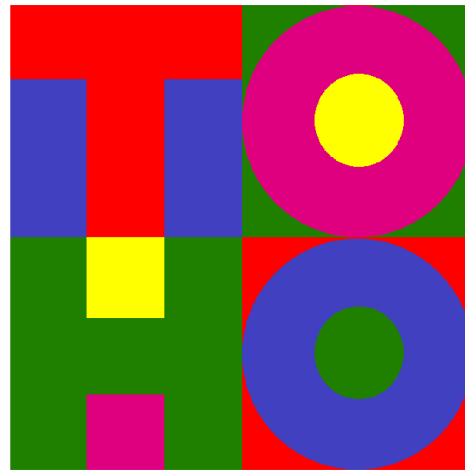


---

# 当行の現況

---



平成16年度中間決算  
株式会社 東邦銀行



# 目次

## I. 平成16年度 中間決算の概要

1. 平成16年度 中間決算の概要
2. 預金等の状況
3. 貸出金の状況
4. 有価証券の状況
5. 資金利益の状況
6. 役務取引等利益の状況
7. 経費の状況
8. 不良債権の状況
9. 自己資本比率の状況
10. 格付けの状況
11. 平成16年度の業績見通し

## II. 経営方針・経営計画

1. 東邦銀行のめざす姿
2. 中期経営計画の体系図
3. 中期経営計画の進捗状況
4. 収益強化型ビジネスモデルの確立に向けて
  - (1) 事業性貸出部門の収益増強への取組み
  - (2) 消費者ローン部門の収益増強への取組み
  - (3) 役務収益の増強への取組み
  - (4) 経費圧縮への取組み
5. 資産内容の健全化に向けて
6. リレーションシップ・バンキングの機能強化に向けて
7. 地域貢献への取組み



---

# I . 平成16年度 中間決算の概要



# 1. 平成16年度 中間決算の概要

平成16年度中間決算は、貸出金利息の増加、経費の削減により、コア実質業務純益が増加するとともに、不良債権処理額の減少により、経常利益が大幅に増加。（単位:億円）

	15年9月期	16年9月期	増減
業務粗利益	254	247	▲7
資金利益	225	224	▲0
役務取引等利益	21	21	▲0
経費	182	176	▲5
人件費	98	92	▲6
物件費	69	74	+5
<b>コア実質業務純益(※)</b>	<b>69</b>	<b>71</b>	<b>+2</b>
一般貸倒引当金繰入額	2	▲18	▲21
業務純益	69	88	+18
臨時損益	▲65	▲41	+24
不良債権処理額	68	49	▲19
経常利益	4	47	+42
特別損益	53	▲0	▲53
税引前中間純利益	57	46	▲11
中間純利益	33	28	▲5

## <主な要因>

貸出金利息は1億円増加したが、有価証券利息は2億円減少

人件費の圧縮を中心に、積極的な経費削減を実施

新紙幣対応等の要因により増加

貸倒実績率の低下等により引当金の戻入れが発生

不良債権処理額が減少

15年9月期は厚生年金基金代行部分の返上益を計上

※銀行の本来業務で計上された利益（債券関係損益等を除く利益）

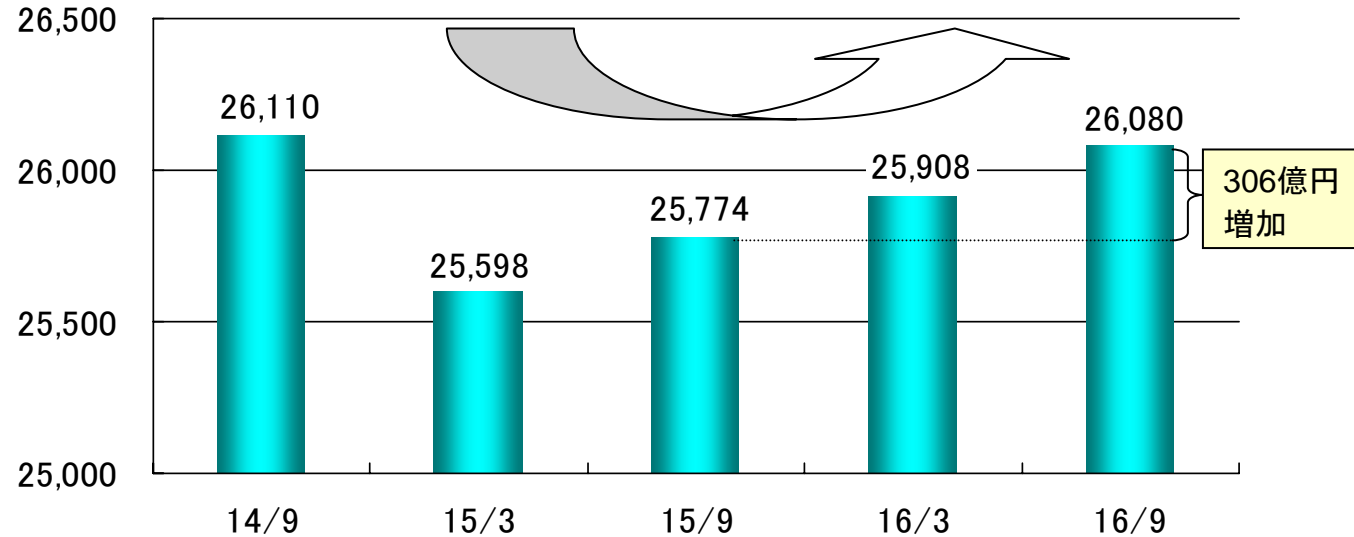


## 2. 預金等の状況

個人預金の増加を主要因として、総預金は2兆6,080億円と、対前年同期比306億円増加。  
預かり資産残高も個人向け国債や投資信託を中心に、増加基調で推移。

### ●総預金(譲渡性預金含む)残高の推移

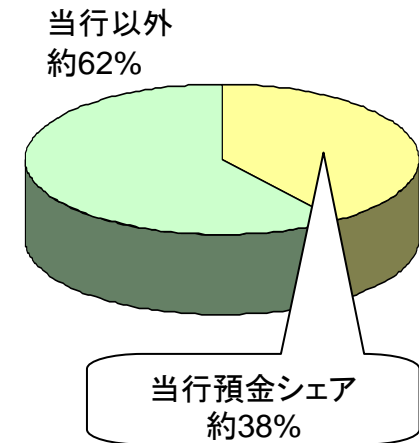
(億円)



### ●福島県内の当行預金シェア

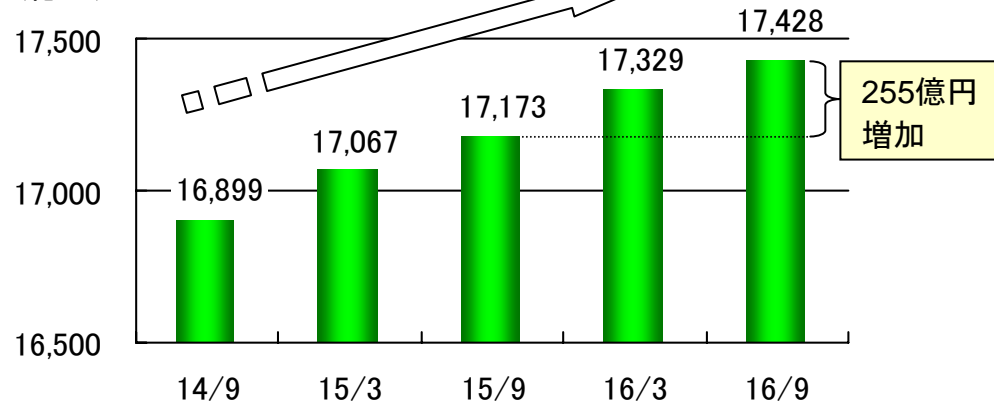
(郵貯・農協・政府系金融機関等を除く)

<16年3月末現在>



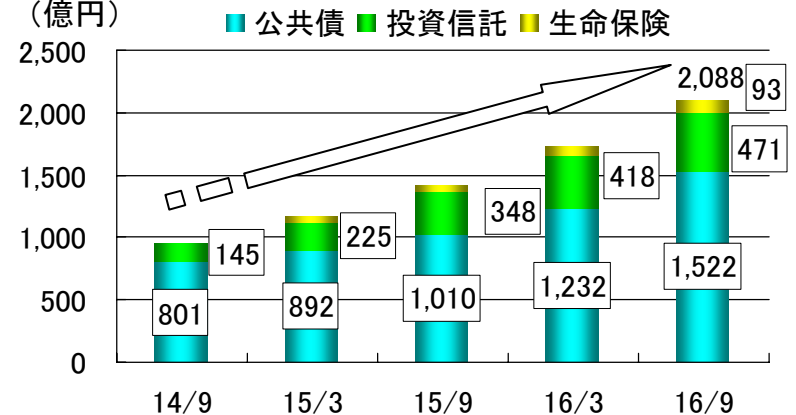
### ●個人預金残高の推移

(億円)



### ●預かり資産残高の推移

(億円)



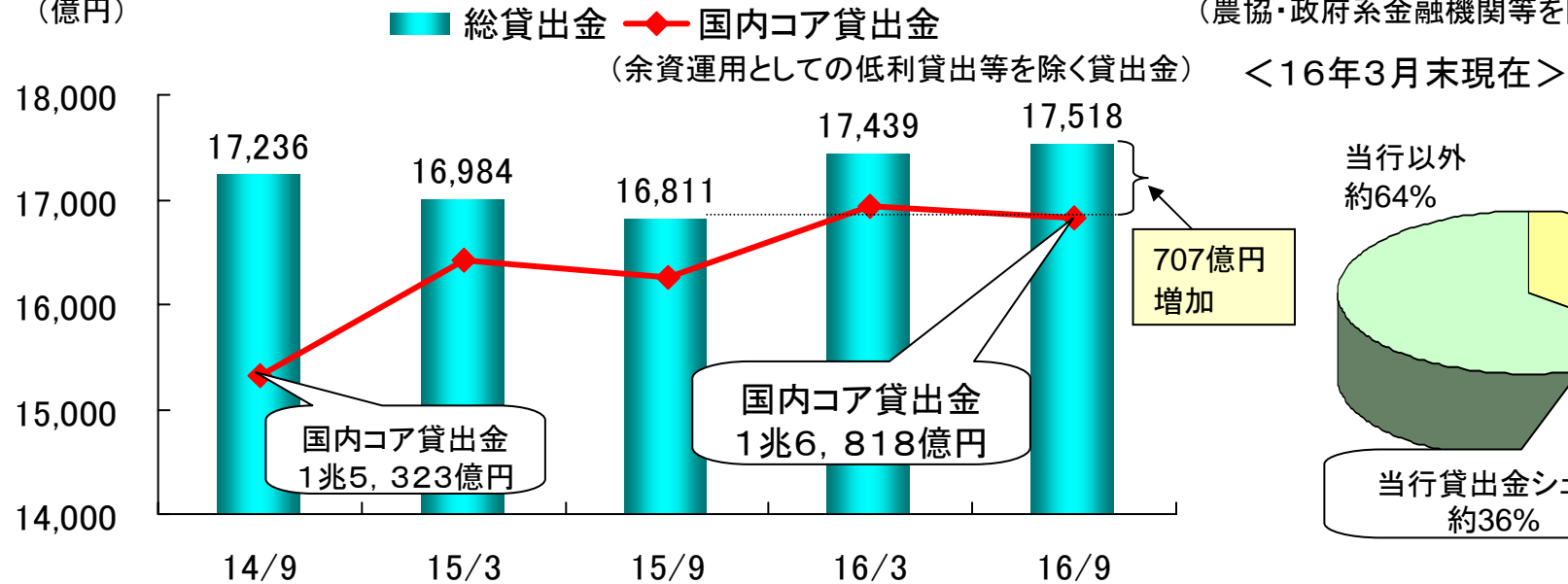


# 3. 貸出金の状況

中小企業向けご融資や消費者ローンへの積極的取組みにより、国内コア貸出金は増加傾向で推移。

## ●総貸出金・国内コア貸出金残高の推移

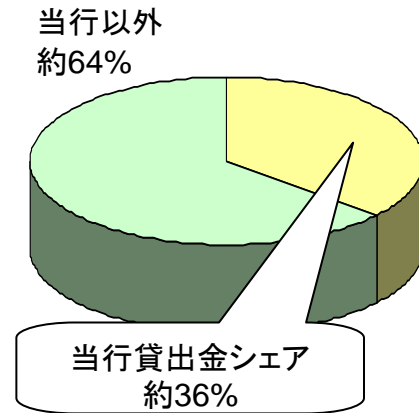
(億円)



## ●福島県内当行貸出金のシェア

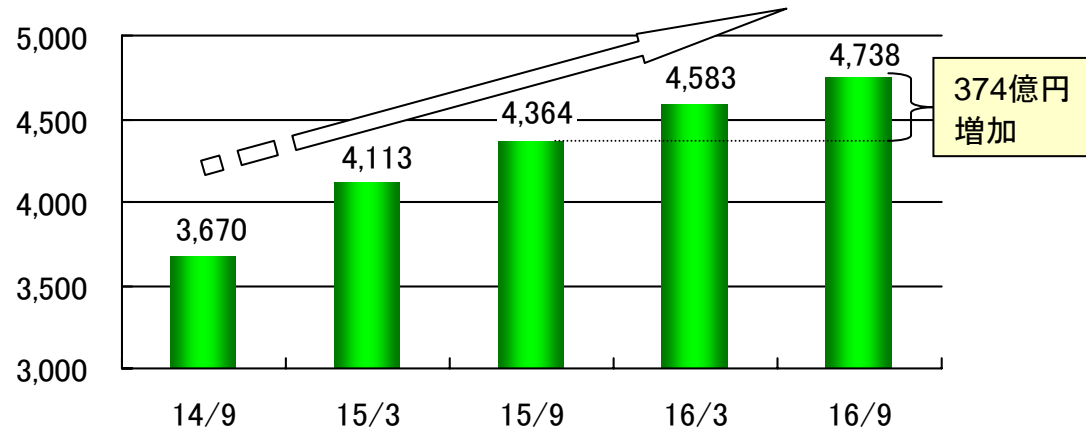
(農協・政府系金融機関等を除く)

<16年3月末現在>



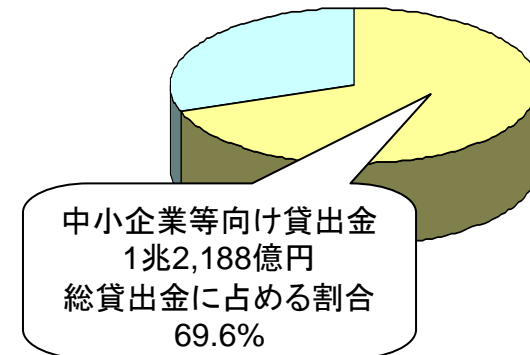
## ●消費者ローン残高の推移

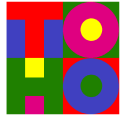
(億円)



## ●中小企業等向け融資への取組状況

(16年9月末現在)



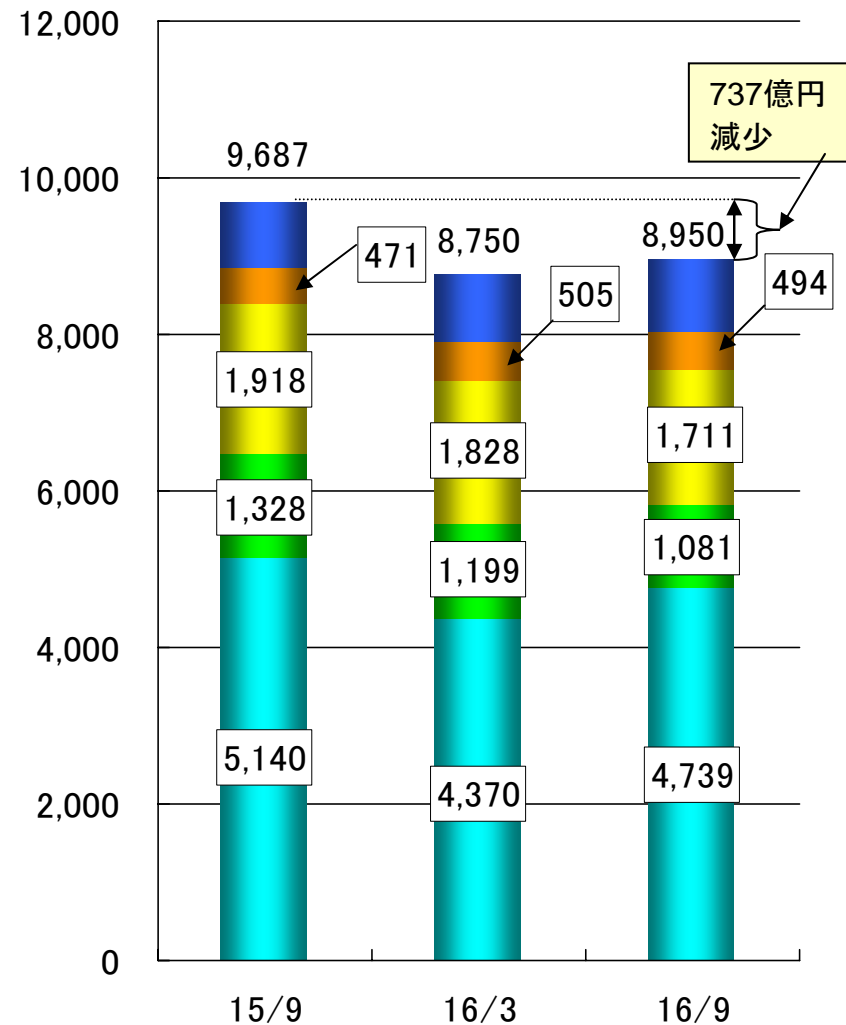


# 4. 有価証券の状況

有価証券は国債・地方債・社債を中心に、安全性・流動性を考慮して運用。  
金利リスクへの対応を考慮し、残高の圧縮、ポートフォリオの機動的な入替えを実施。

## ●有価証券ポートフォリオの構成推移

(億円) ■ 国債 ■ 地方債 ■ 社債 ■ 株式 ■ その他



## ●有価証券評価損益の状況

(百万円)

	15/9末 評価損益	16/3末 評価損益	16/9末 評価損益
有価証券	8,890	15,569	15,257
株式	7,193	11,336	8,322
債券	1,485	3,590	7,065
その他	211	643	▲130

(円)

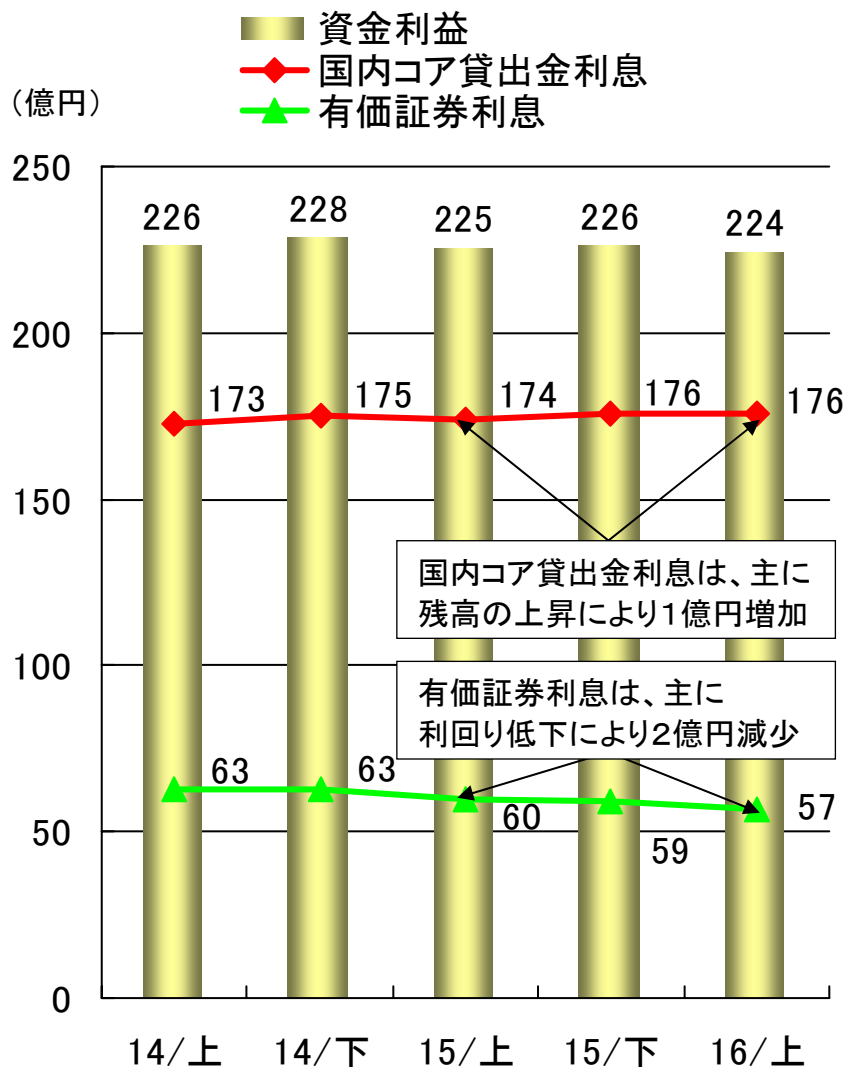
日経平均株価	10,219	11,715	10,823
10年国債利回り	1.380%	1.435%	1.440%



# 5. 資金利益の状況

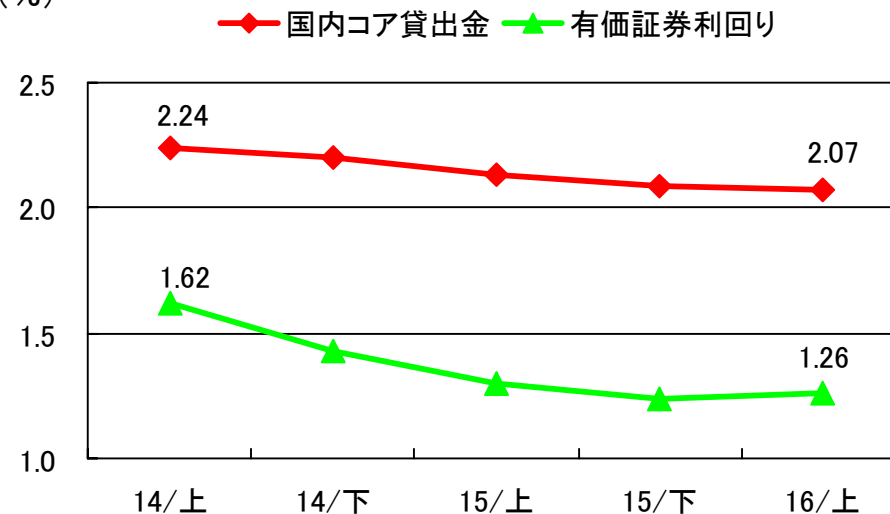
既存の高金利貸出や高クーポン債の償還により、貸出金・有価証券利回りは低下傾向で推移するものの、貸出金残高の増強により、ほぼ前年同期並となる224億円の資金利益を確保。

## ●資金利益の推移



## ●運用利回り

(%)



## ●資金利益対前年同期比▲0億円の内訳

◎資金利益: 15/上225億円→16/上224億円=▲0億円(▲53百万円)

### <主な要因>

国内コア貸出金利息	+1億円
有価証券利息	▲2億円

有価証券利息の減収分を貸出金の増強でカバー

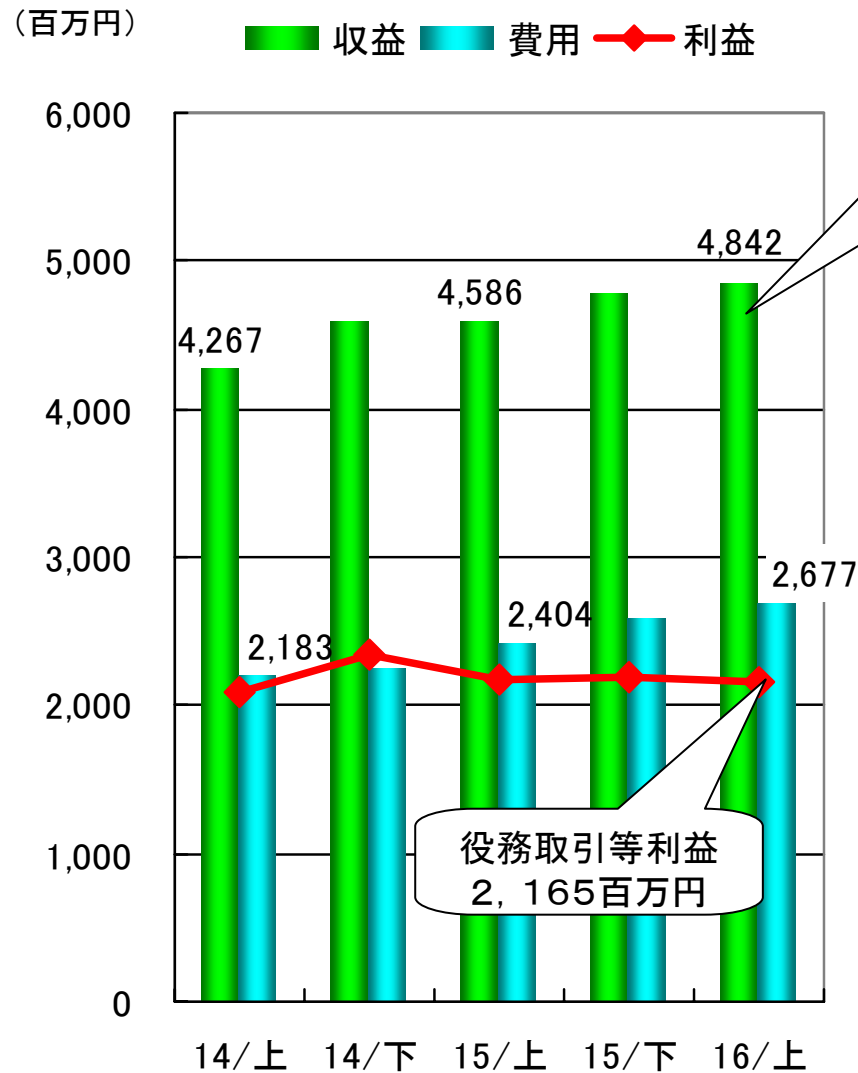




# 6. 役務取引等利益の状況

預かり資産関連手数料の増加等により、役務取引等収益が着実に増加。

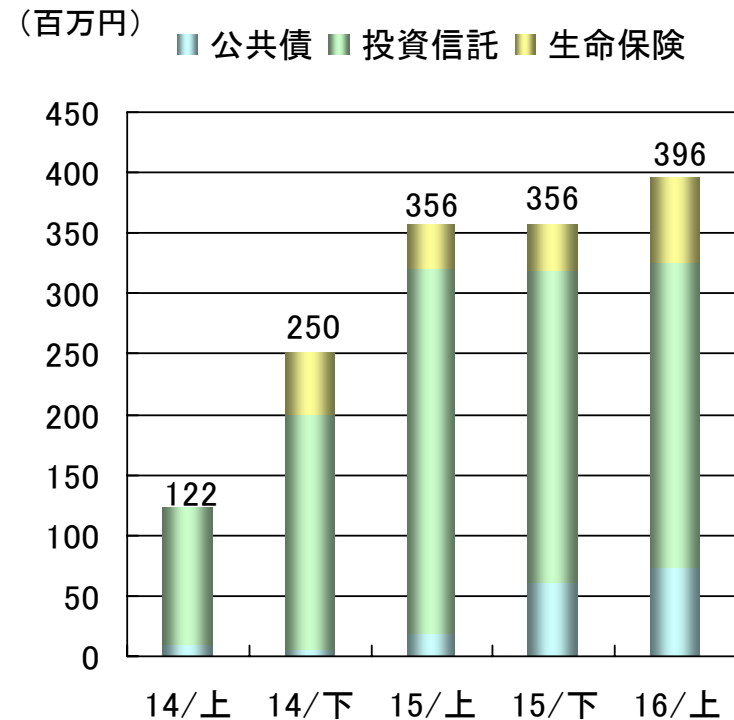
## ● 役務取引等収支の推移



<16年上期役務取引等収益の主な内訳>

受入為替手数料	2,110百万円
口座振替手数料	569百万円
預かり資産関連手数料	396百万円
アイワイバンク関連手数料	318百万円

## ● 預かり資産関連手数料の推移

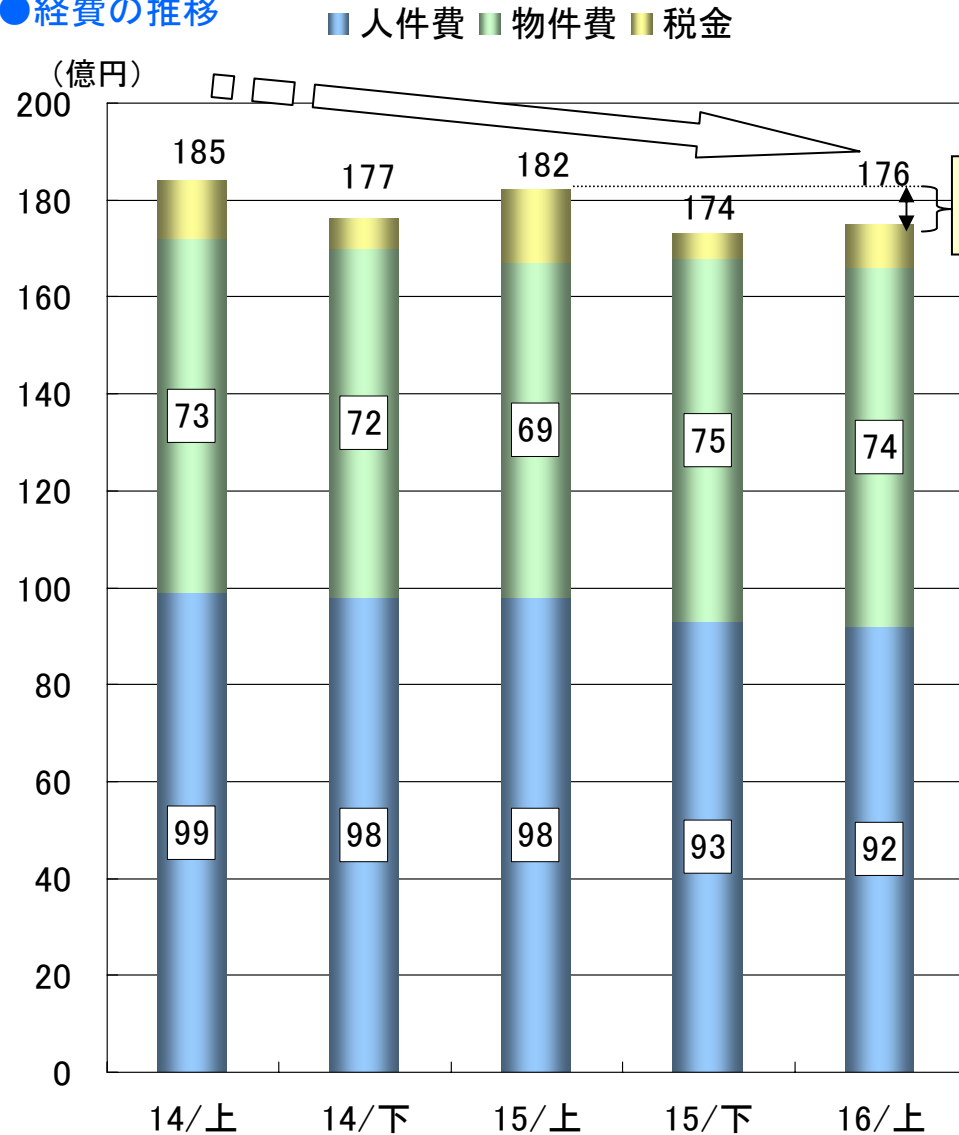




# 7. 経費の状況

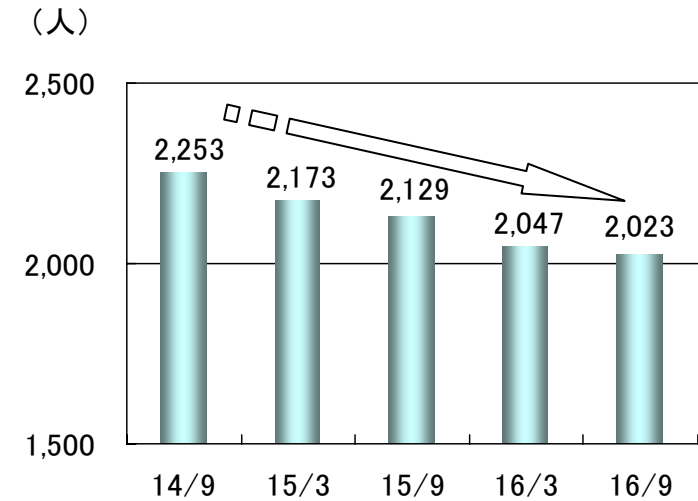
人員圧縮等により人件費は減少。物件費は新札切替関連費用等の一時的な負担発生により増加。

## ●経費の推移



人件費: 前年同期比▲6億円

## ●行員数の推移



物件費: 前年同期比+5億円

## ●主な要因

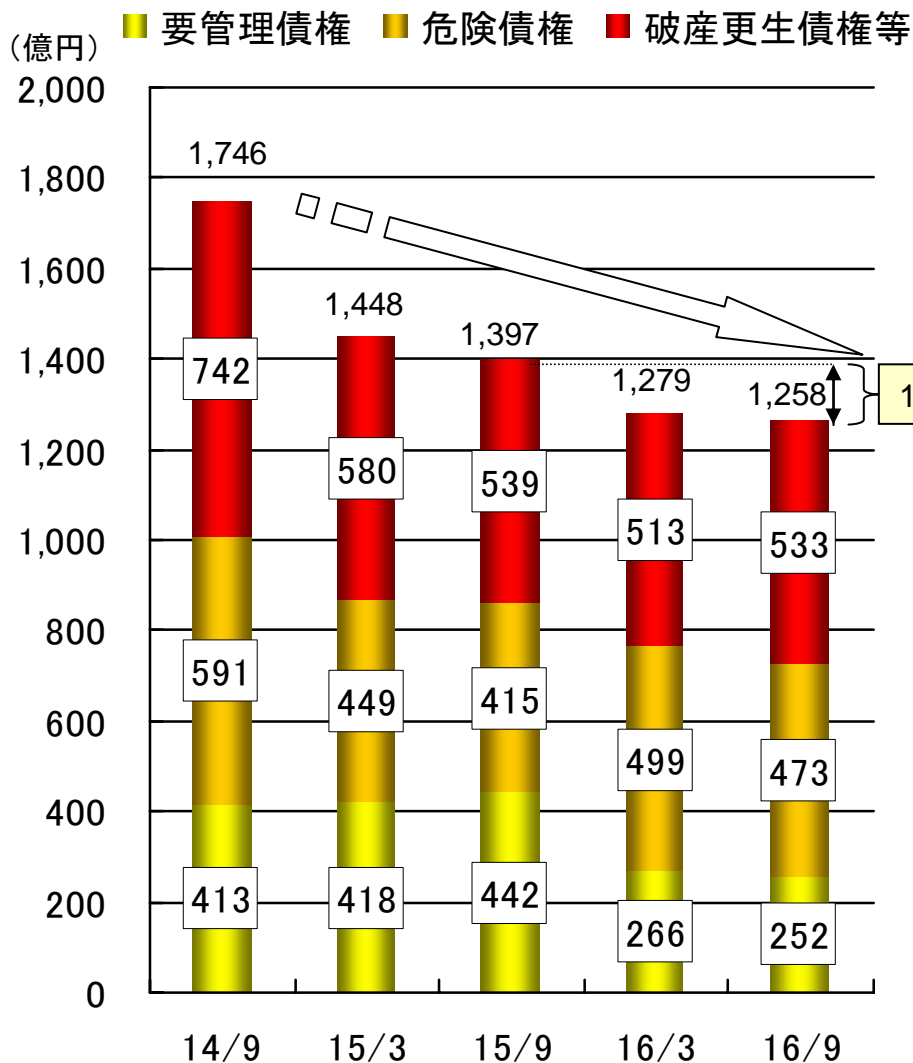
- 新紙幣対応に伴う各種出納機器の更改・改造
- PROBANK稼働に伴う運用経費の物件費計上



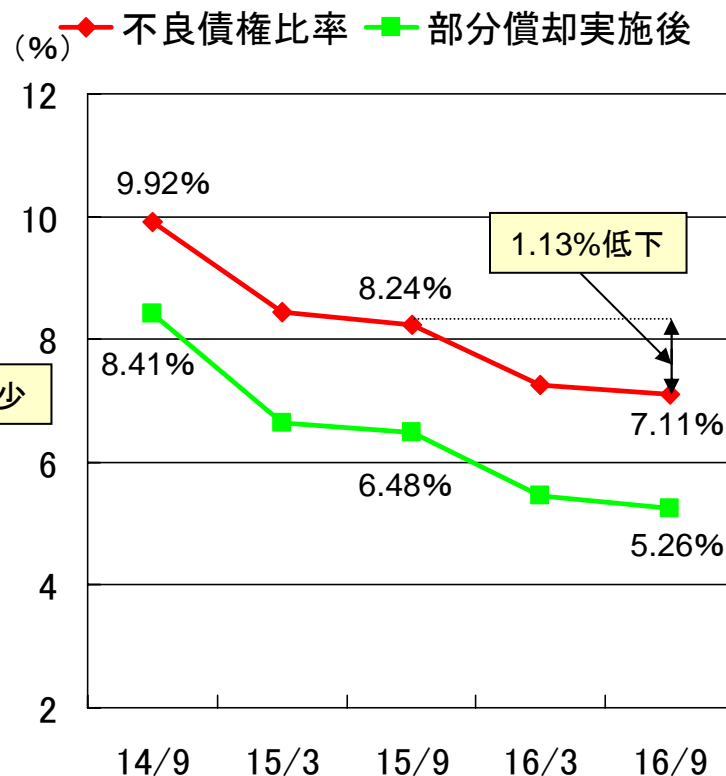
# 8. 不良債権の状況

企業再生支援、債権売却等に積極的に取組み、不良債権比率は7.11%(部分直接償却後(※)5.26%)まで低下。

## ●金融再生法開示債権の推移



## ●金融再生法開示債権比率の推移



※部分直接償却とは

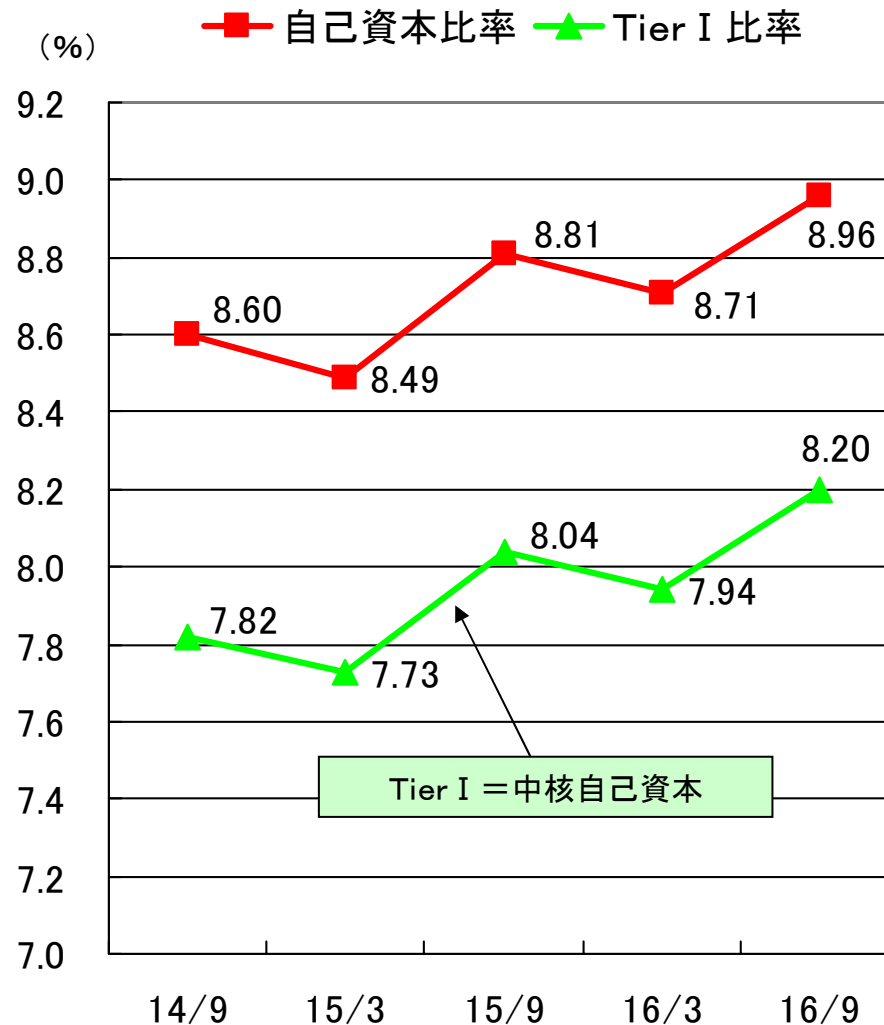
「破産更生債権等」について、回収困難と認められる額に対し個別貸倒引当金の計上ではなく、貸倒償却として債権額から直接減額すること。



## 9. 自己資本比率(単体)の状況

内部留保の拡充に努めた結果、国内基準4%を大きく上回る約9%(国際基準では10%弱)の水準を確保。17年3月末10%を指向。Tier I 比率は地銀平均を1%近く上回る高い水準を確保。

### ●自己資本比率の推移



### ●自己資本の内訳と繰延税金資産比率

(億円)

	16年3月末	16年9月末	前期比
自己資本	1,138	1,160	+21
Tier I	1,038	1,061	+22
繰延税金資産	257	253	▲4
Tier II (※)	99	99	▲0
Tier I に占める繰延税金資産比率	24.81%	23.87%	▲0.94%

※Tier II: 一般貸倒引当金および土地再評価差額等

### ●内部留保の拡充

地域の皆さまからの更なる信頼を獲得するため、当行では役職員一丸となって内部留保の拡充に努めており、今後も自己資本の充実を最重点課題として取り組んでまいります。

### <ご参考>

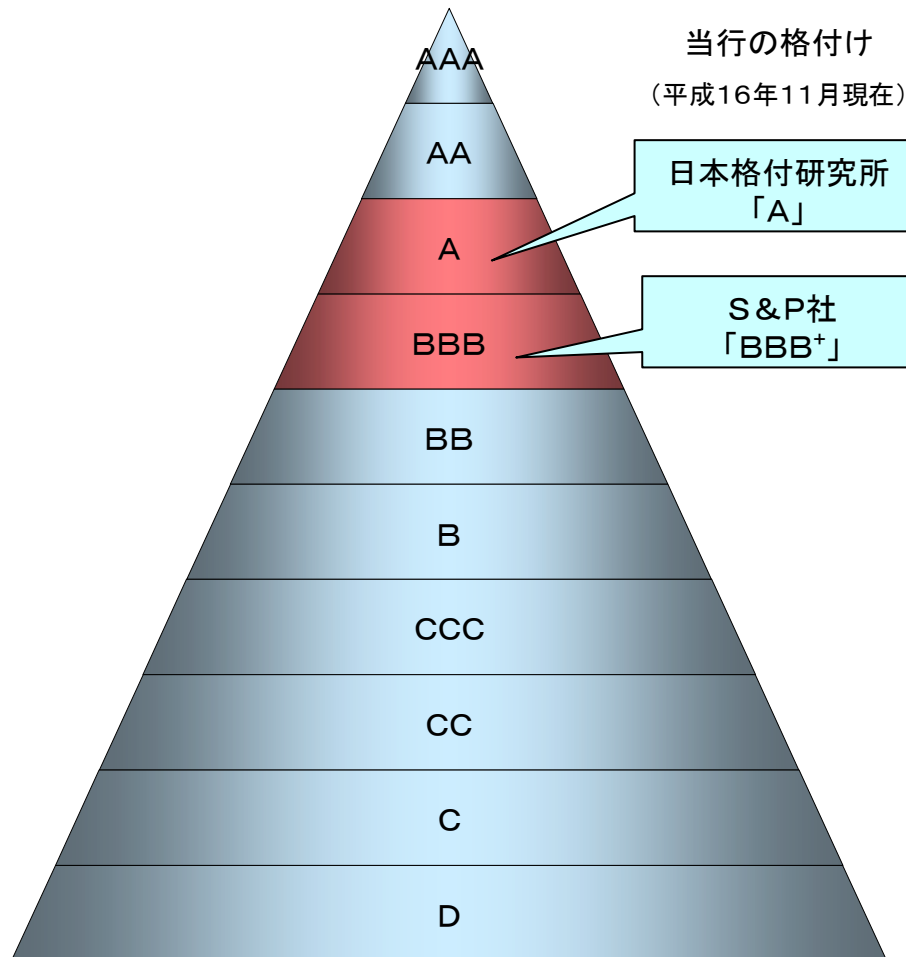
#### ●16年3月期連結自己資本比率の地銀平均(国内基準)比較

	当行	地銀平均
自己資本比率	8.82%	8.90%
Tier I 比率	8.05%	7.09%



# 10. 格付けの状況

当行は(株)日本格付研究所より「A」、S&Pより「BBB<sup>+</sup>」の高い評価を受けています。



## 【格付け】

経営の健全性と安定性に関しては客観的な評価が大切であり、「格付け」は、利害関係のない第三者である格付機関が企業の信用度や債務履行などを簡潔な記号で表したものの。

## 【日本格付研究所】

日本の代表的な格付け機関

## 【S&P(スタンダード&プアーズ)社】

ニューヨークに本社を置き、米国最大かつ世界に信頼されている格付機関。日本での格付け実績は300社を超え、世界での実績は数千社にのぼる。



# 11. 平成16年度の業績見通し

平成16年度決算は、不良債権処理額の大幅な減少を主要因として、最終50億円の利益を確保できる見通し。

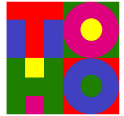
(単位:億円)

	15年度	16年度見通し	増減	
業務粗利益	519	491	▲28	<p>&lt;主な要因&gt;</p> <p>貸出金利息4億円増加、有価証券利息9億円減少を見込む</p>
資金利益	451	446	▲5	
役務取引等利益	43	44	+0	
経費	356	352	▲3	引続き人件費を中心に、積極的な経費削減を実施
人件費	192	182	▲10	
物件費	145	151	+6	
<b>コア実質業務純益</b>	<b>145</b>	<b>141</b>	<b>▲4</b>	有価証券利息減少分を考慮
一般貸倒引当金繰入額	▲14	▲23	▲8	貸倒実績率の低下等による引当金の戻入れを見込む
業務純益	177	162	▲15	
臨時損益	▲156	▲72	+84	不良債権処理負担は前年度を大きく下回る見込み
不良債権処理額	186	88	▲98	
経常利益	21	90	+68	
特別損益	48	▲5	▲53	
税引前当期純利益	70	85	+14	
<b>当期純利益</b>	<b>39</b>	<b>50</b>	<b>+10</b>	50億円の当期純利益を見込む



---

## Ⅱ. 経営方針・経営計画



# 1. 東邦銀行のめざす姿

## 【目指すべき銀行像】

### 21世紀のベスト・リージョナルバンク

～お客さま・地域からの信頼に応え、市場・株主からも高く評価される金融グループ～

## 【企業理念】

### ★社会的使命

～地域を見つめ、  
地域とともに

私たちは、  
地域を見つめ、  
地域と共に歩み、  
総合的な金融サービス  
をもって「ふくしま」の  
発展とお客さまの  
豊かなくらしづくりの  
ために力を尽くします。

### ★経営姿勢

～お客さまの  
満足のために

私たちは、  
進取・積極の精神と  
健全な姿勢を基本  
とし、心が通いあう  
活きた組織をもって  
お客さまの満足  
のために汗を流します。

### ★行動規範

～新しい感覚と  
柔軟な発想をもって

私たちは、  
ふるさと「ふくしま」を  
愛し、新しい感覚と  
柔軟な発想をもって  
自分を磨き、お客さま  
の信頼に応えることを  
喜びとします。

## 【行動指針】

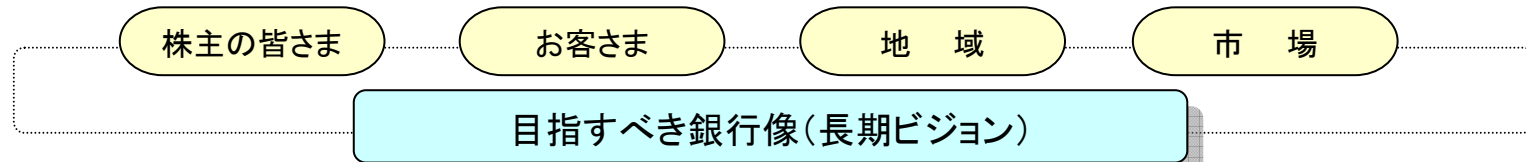
### ★私たちの 「いちばん」宣言

1. ふるさとを愛する心がいちばん
2. お客さまの笑顔がいちばん
3. 仲間を思いみんなで考えるのが  
いちばん
4. しなやかな発想、はっきりした主張  
がいちばん
5. プロとしての責任ある仕事が  
いちばん
6. 現場からの声がいちばん
7. がんばった人がいちばん





## 2. 中期経営計画の体系図



### 21世紀のベスト・リージョナルバンク

～お客さま・地域からの信頼に応え、市場・株主からも高く評価される金融グループ～

### 中期経営計画

### 名称: TOHO変革ビジョン2003

【計画期間:平成15年4月1日～平成18年3月31日】

### メインテーマ: 高収益体質への自己変革

#### 経営目標

- 収益強化型ビジネスモデルの確立
- 資産内容の健全化促進
- 経営インフラの再構築
- リレーションシップバンキングの機能強化

#### 経営指標

- コア実質業務純益      150億円以上
- 自己資本比率            9.0%以上
- 不良債権比率            6.0%以下
- OHR(※)                 70.0%以下

経営目標実現に向けた自己変革モデルの実行

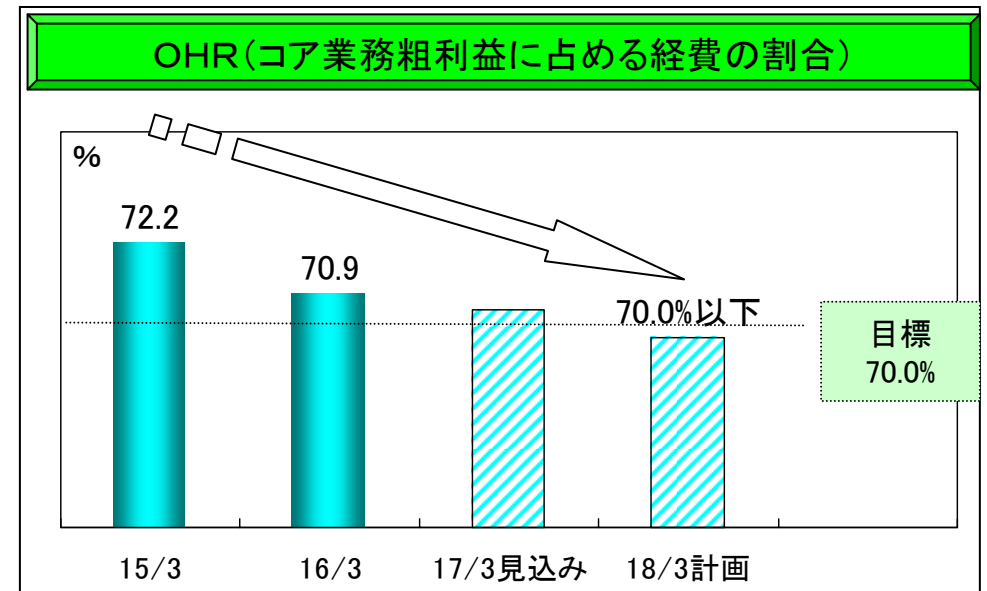
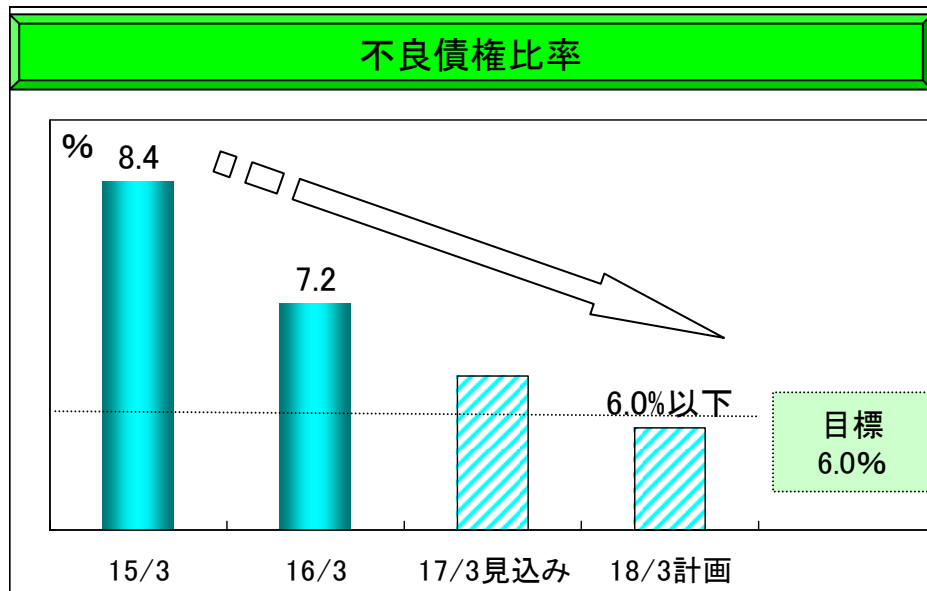
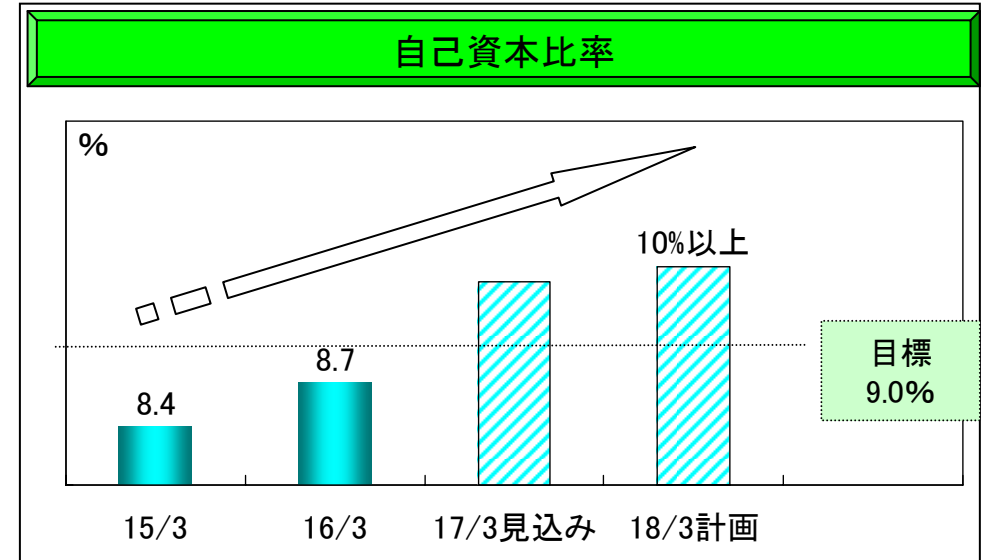
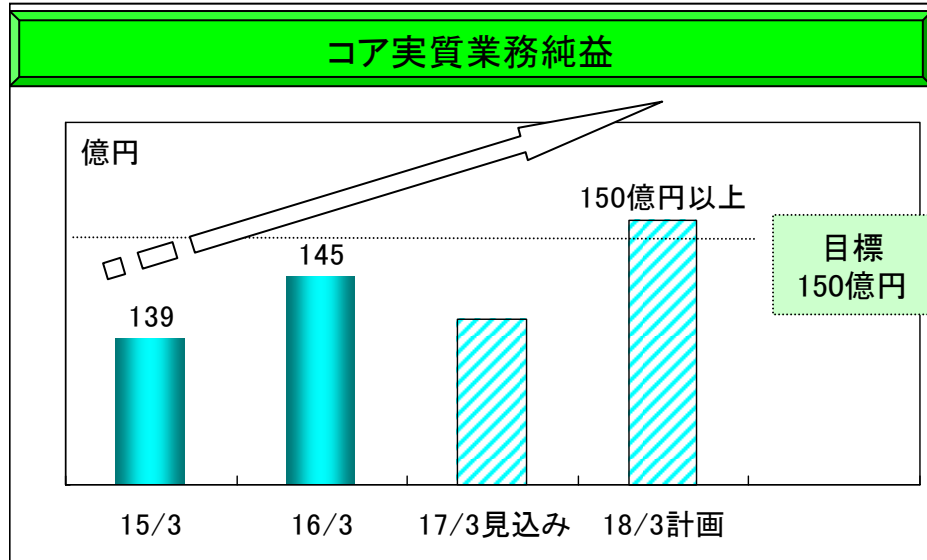
リスク管理体制・法令遵守態勢・内部統制機能の高度化

コーポレート・ガバナンスの強化

※コア業務粗利益に占める経費の割合



### 3. 中期経営計画の進捗状況



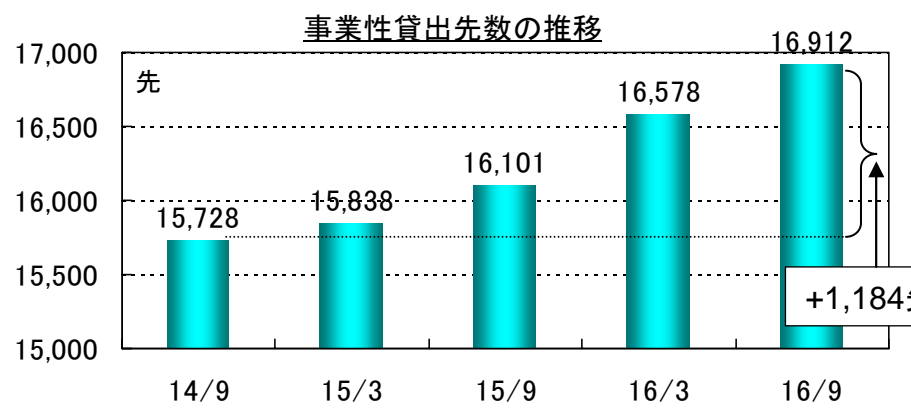


# 4. 収益強化型ビジネスモデルの確立に向けて

## (1) 事業性貸出部門の収益増強への取組み

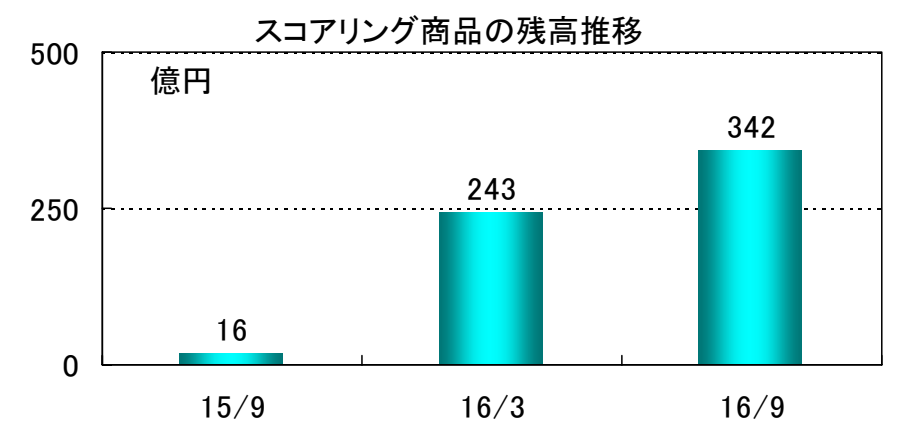
### お取引先の開拓

渉外力の強化やビジネスローンプラザ設置により新規のお取引先を開拓



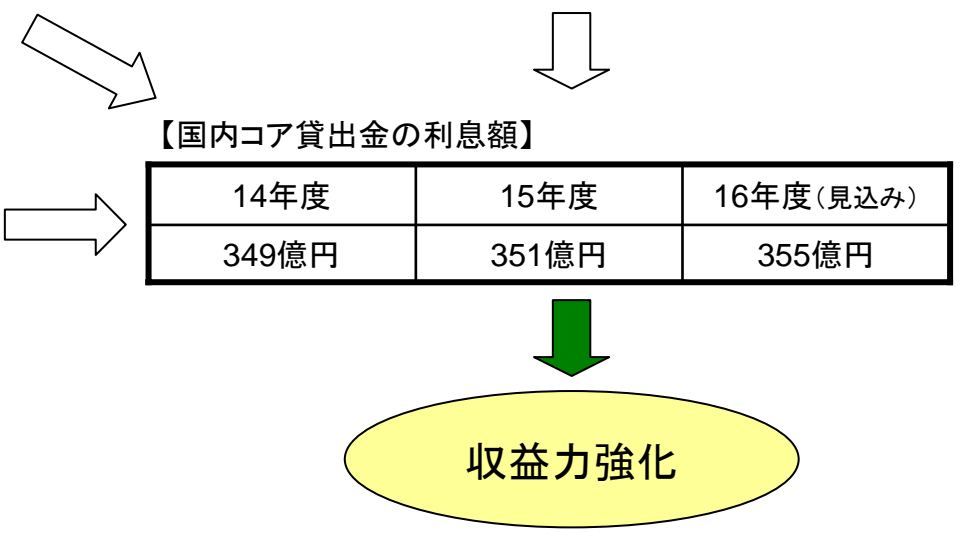
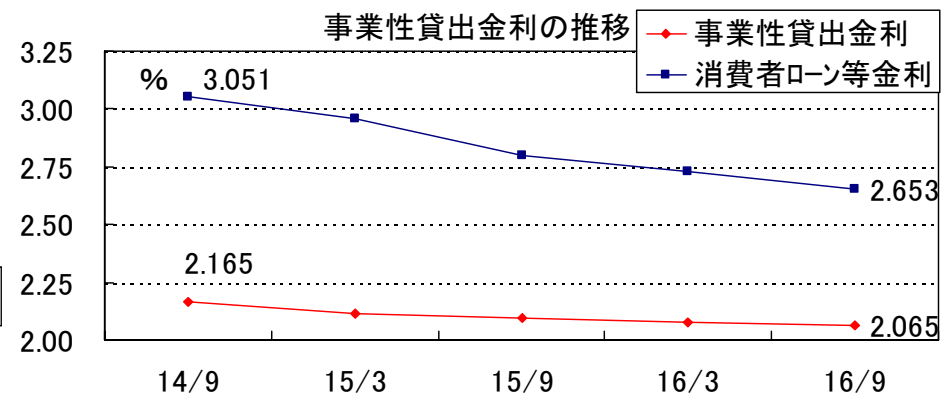
### 新しい審査体制の構築

クレジットスコアリングを活用した新しい審査態勢の構築 ⇒ スピード回答



### 適正プライシング実現

信用リスクに見合った金利体系の導入 ⇒ 適正プライシングの実現

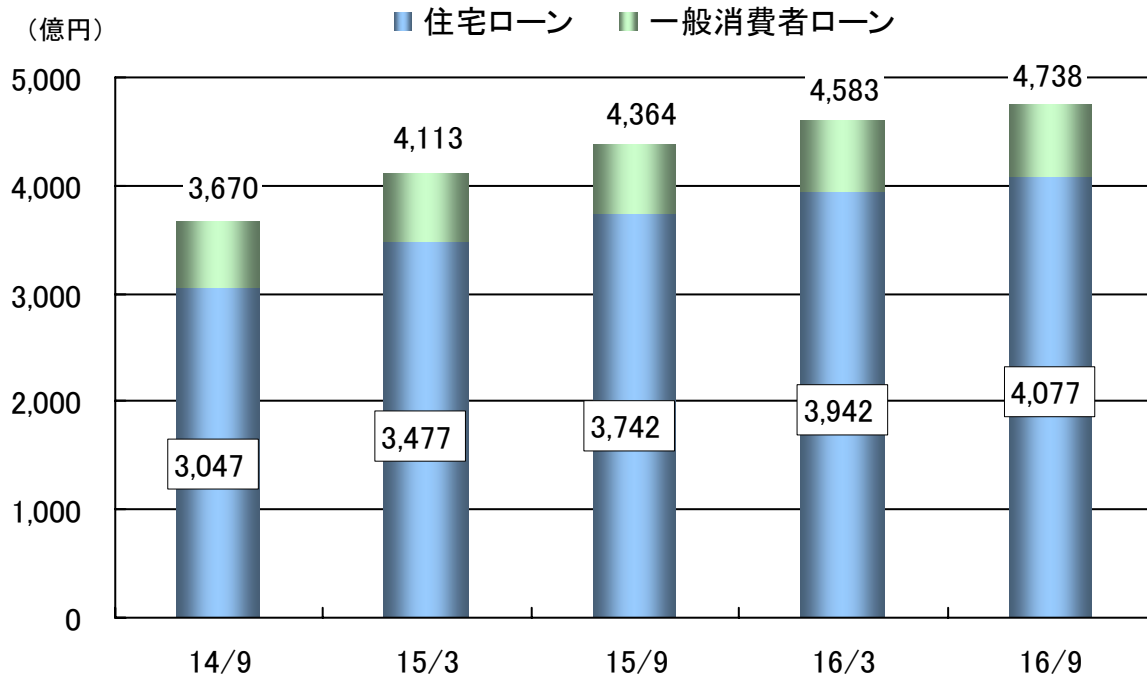




# 4. 収益強化型ビジネスモデルの確立に向けて

## (2) 消費者ローン部門の収益増強への取組み

消費者ローン残高の推移



平成17年度目標  
5,100億円

- スピード審査・回答体制の確立
- ・住宅ローン自動審査システムの導入
- ・一般消費者ローン自動審査システムの高度化

- 県内5カ所へのローン専門拠点の配置
- ・ローンプラザ支店(独立店舗)  
福島、会津、須賀川
- ・ローンセンター(併設店舗)  
郡山、いわき

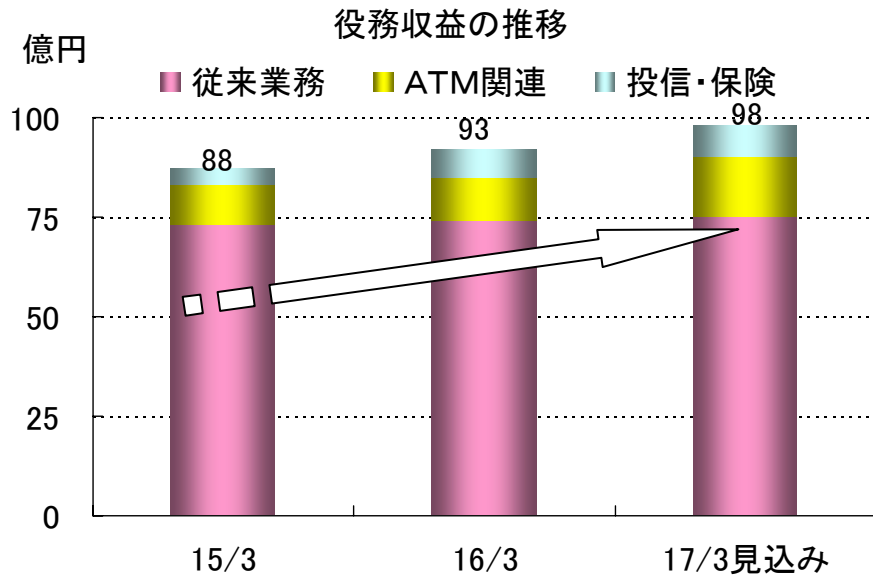
- 【主なローン商品】
- 住宅ローン関係
    - ・「プラス5(ファイブ)」  
住宅新築・購入、リフォーム、借換資金とローン・クレジットなどのおとりまとめ資金
    - ・「きらら」  
女性専用の住宅ローン(住宅新築・購入、リフォーム、借換資金など)
  - 一般消費者ローン
    - ・カードローン(TOHOモビットなど)
    - ・オートローン
    - ・教育ローン
    - ・ブライダルローン、メモリアルローン
    - ・お買物ローン
    - ・スーパーデジタル家電ローン
    - ・おとりまとめローン



# 4. 収益強化型ビジネスモデルの確立に向けて

## (3) 役務収益の増強への取組み

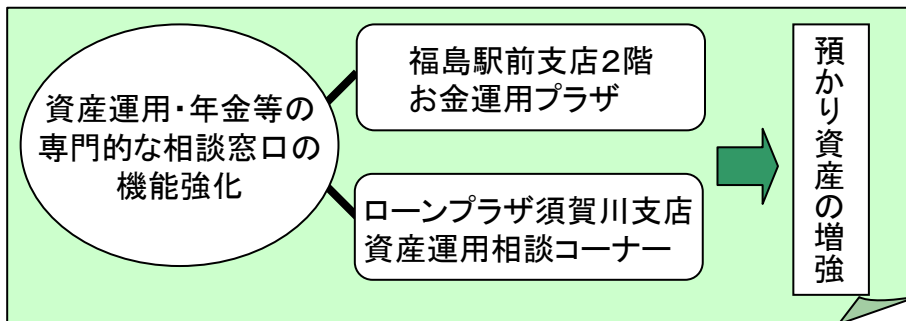
投資信託や生損保の窓販、ATM提携の拡大などの新しい業務が収益増加に貢献



14年度⇒16年度(見込み)の  
役務取引等収益増加額 11億円

新しい業務による要因		+	8億円
投信窓販	+	3億円	
保険窓販	+	1億円	
A T M	+	4億円	

従来業務による要因		+	3億円
商品有価証券	+	1億円	
口座振替	+	1億円	
その他	+	1億円	



平成17年度  
役務取引等収益目標  
102億円

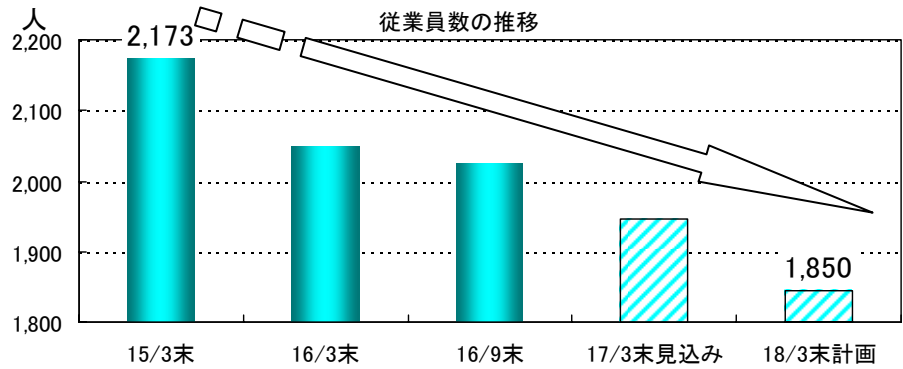


# 4. 収益強化型ビジネスモデルの確立に向けて

## (4) 経費圧縮への取組み

### 少数精鋭の人員体制の構築

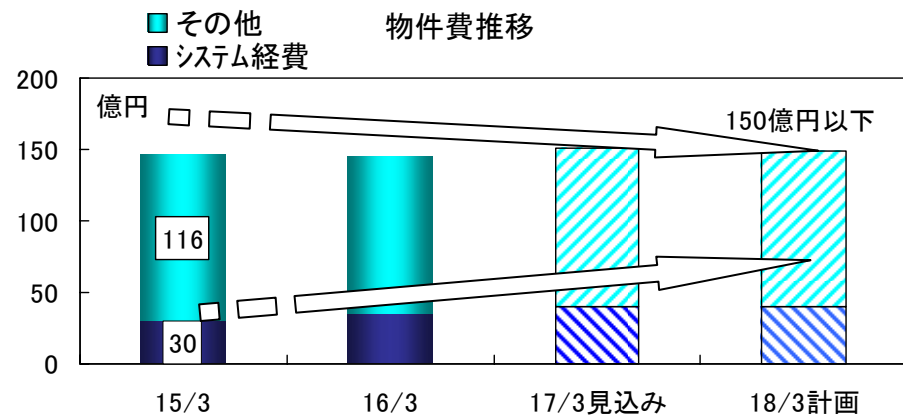
1,850人体制の実現と各種施策の実行により、少数精鋭の人員体制を構築



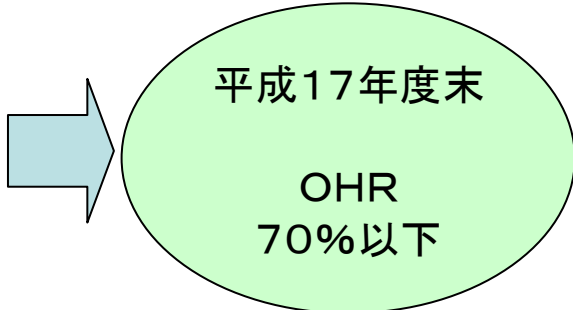
- 効率化による生産性の向上
- ライフプランに合わせた雇用形態の多様化
- 成果主義人事制度の定着化

### 物件費の圧縮

システム関連コスト等戦略的投資には前向きに取り組む一方、一般物件費の削減により物件費総体は圧縮



- 物件費削減プログラム
- 投資圧縮プログラム
- 各種業務のアウトソースによる効率化推進

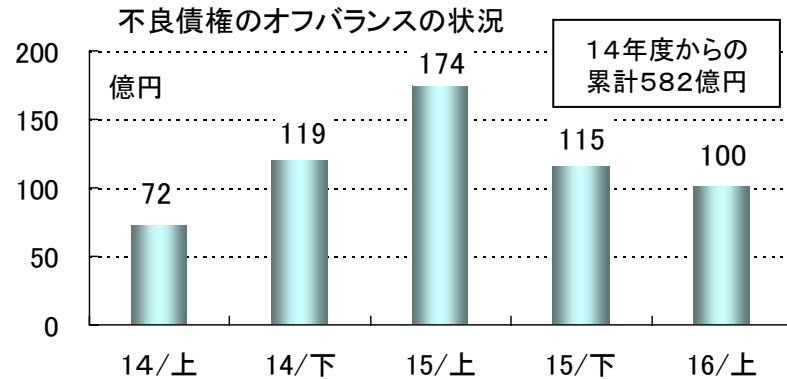




# 5. 資産内容の健全化促進に向けて

## 不良債権の処理促進への取組み

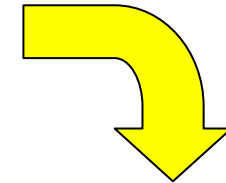
### 不良債権のオフバランス化の状況



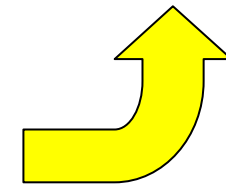
### 不良債権の回収促進

債権管理指導チームによる指導の強化

業務遂行能力向上に向けた研修会・協議会の開催



平成17年度末  
不良債権比率  
6.0%以下



## 不良債権の発生防止への取組み

366先の経営改善支援に取組み、67先の債務者区分が上昇

### 企業経営支援チームの取組み強化

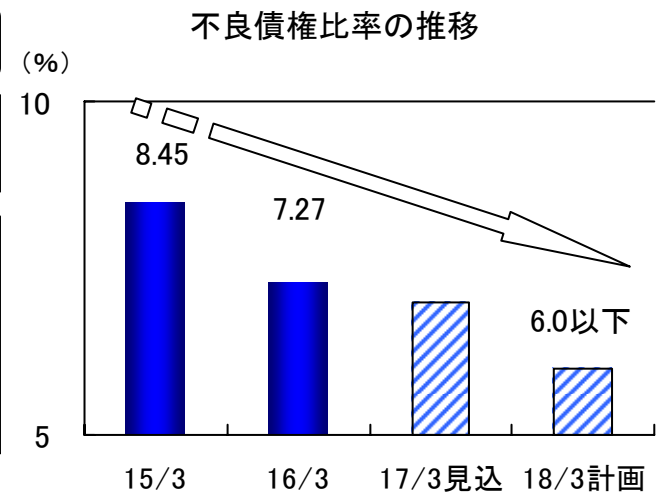
融資部内の専担部署として経営支援活動を展開  
行員の経営支援スキル・意識の高揚に向け営業店指導を実施

### 特定企業支援チームの取組み強化

融資管理部内の専担部署として事業再生支援活動を展開  
経営協議会の開催や政府系金融機関等との連携を実施

### 指定企業・指定業種の管理強化

業種別与信方針策定  
特に業態管理が必要な先に対する企業経営支援チームとタイアップした対応を実施





## 6. リレーションシップバンキングの機能強化に向けて

### 創業・新事業支援機能強化に向けた取組み

#### ビジネスサポートチームの設置

- 創業・新事業の案件相談
- 産学官との連携強化の取り組み
- 行内での“目利き”研修の実施

#### ベンチャーファンドの整備

- 投資ファンドへの出資
  - ・ 県内第1号企業決定
- 日本政策投資銀行との連携

#### 産学官連携による案件発掘

- 行政機関との連携
  - ・ (財)福島県産業振興センター
  - ・ 地域中小企業支援センター 等
- 学術面での連携
  - ・ 福島大学地域創造支援センター
  - ・ 会津大学、東北大学、日本大学等
- 産業クラスター・ホト金融会議参加

### 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化

#### 情報の提供

- 情報サイト「とうほうビジネス情報サービス」の構築  
16年9月末 申込件数 3,138件
- 「東邦ビジネスカレッジ」「新入社員研修会」等  
セミナー、講演会の開催
- 各種勉強会等への講師派遣
- 各種業界に関する「ビジネスレポート」の提供

#### ビジネスマッチングの仕組み整備

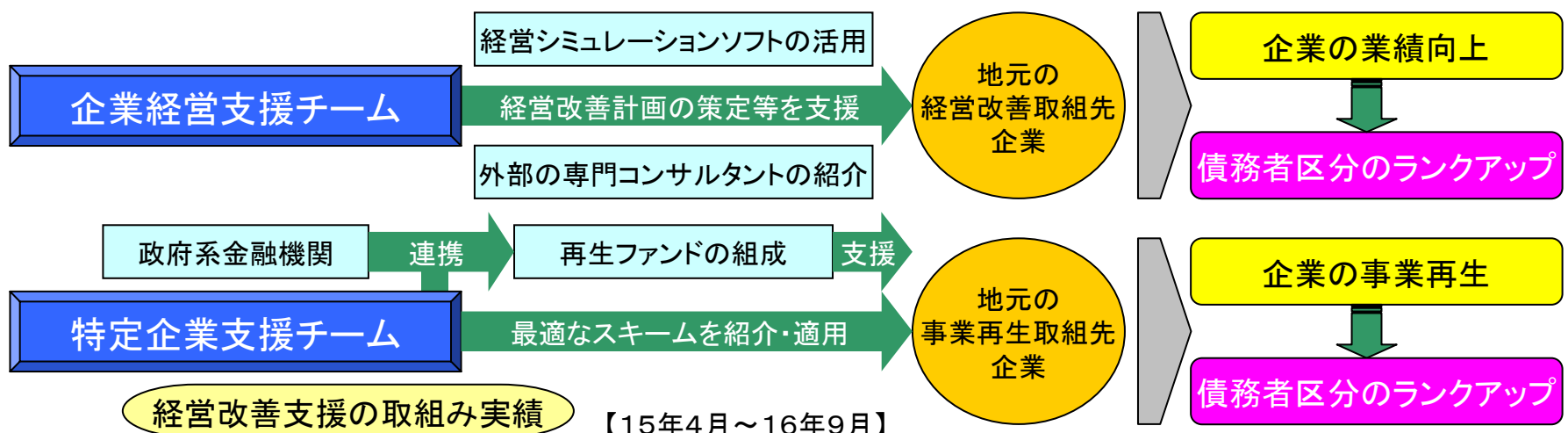
- 行内情報掲示板の作成 16年9月末登録件数 104件
- 「とうほうビジネス情報サービス」による営業斡旋  
16年9月末登録件数 23件
- 地方銀行情報ネットワークの活用  
16年9月末までの情報受発信 19件
- 東北最大の展示商談会「ビジネスクリエーション東北2004」  
への共催参加
- ★ ビジネスマッチング成約件数 16年9月末まで49件





# 6. リレーションシップバンキングの機能強化に向けて

早期事業再生に向けた積極的な取組み(取引先企業の経営支援・再生支援)



経営改善支援の取組み実績 【15年4月～16年9月】

		15/4時点での債務者数	うち経営改善支援取組先	うち債務者区分上昇先
	正常先	12,075	49	
要 注 意 先	その他要注意先	2,747	178	20
	要管理先	263	81	44
	破綻懸念先	319	49	2
	実質破綻先	286	9	1
	破綻先	146		
	合計	15,836	366	67



## 7. 地域貢献への取り組み

### 地域経済活性化への取り組み状況

経営相談セミナーの開催  
(外部コンサルタントの活用)

海外進出企業への支援  
(貿易実務講座の開催)

関連シンクタンクとの連携

各種勉強会等への講師派遣  
取引先企業向け社員研修会の開催

取引先企業の業績向上支援  
(企業経営支援チーム)

地元企業の再生  
(県中小企業再生支援協議会との連携)

創業・新事業・経営支援  
(ビジネスサポートチーム)

### 地域への各種支援活動の状況

財団法人東邦銀行文化財団の運営

社会貢献者表彰制度

「ふくしまスチューデント・シティ」  
への協賛・ボランティアの派遣

「ふくしま駅伝」への協賛

「小さな親切」運動の実施

「公益信託うつくしま基金」の  
助成先募集



本資料には、将来の業績に係る記述が含まれています。  
こうした記述は、将来の業績を保証するものではありません。  
将来の業績は、経営環境等の変化等により異なる可能性  
があることにご留意ください。